

ガイアシンフォニー『地球交響曲 第一番』 上映会

龍村 仁 監督作品 / ドキュメンタリー映画 (2時間10分)

2009年12月18日(金)

1回目 12:30~

2回目 15:00~

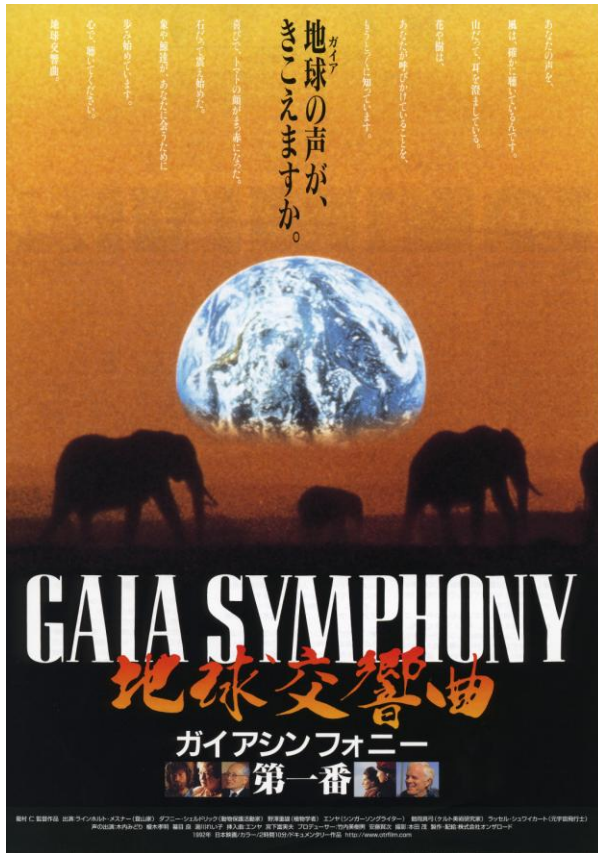
3回目 18:00~

(同じ映画を3回上映します)

上映場所: 畿央大学
冬木記念ホール

◆ F E P とは? ◆

冬木学園教育推進プロジェクト (Fuyuki gakuen Educational Project) では「徳をのぼす」「知をみがく」「美をつくる」の建学の精神に基づく様々な取り組みを進めています。その一つとして畿央大学の冬木記念ホールを使ったイベント企画があります。その第一弾としてこの映画を上映します。今後の企画にもご期待下さい。



映画『地球交響曲(ガイアシンフォニー)』とは、イギリスの生物物理学者ジェームズ・ラブロック博士の唱えるガイア理論、「地球はそれ自体がひとつの生命体である」という考え方に基づき、龍村仁監督によって制作されたオムニバスのドキュメンタリー映画シリーズです。

現在、第六番まで上映されており、1992年公開の「第一番」から2006年公開の「第六番」まで、自主上映を中心とした上映活動だけで、これまでに5600回以上上映され、延べ220万人に上る観客を動員、その数は今なおとどまることなく、かつてないロングランヒット作となっています。

今回、畿央大学で上映する「第一番」は、21世紀の到来を前にして、母なる星・地球の未来にとって、極めて示唆的で重要なメッセージを持っている世界の6人の人々をドキュメントしたオムニバス映画です。

地球の未来を思うとき、どうしても悲観的になりがちですが、この映画は「人の心のための元気薬になれば」という願いとともに製作されました。

登場人物は、いずれも現代の常識を越えた事を成し遂げた人、あるいは体験した人々です。



ラインホルト・メスナー
(登山家)



野澤 重雄
(植物学者)



ダフニー・シェルドリッック
(動物保護活動家)



鶴岡 真弓 / エンヤ
(ケルト美術研究者) (歌手)



ラッセル・シュワイカート
(元宇宙飛行士)

トマトが巨木になった！ 一本のトマトと1万3千個の実



畿央大学 教育学部
准教授 三好 環

このたび上映されるドキュメンタリー映画「地球交響楽」シリーズ「第一章」の各出演者の生き方やその言葉はどれも意味深いものがありますが、その中でも皆さんに是非見て頂きたいのが、巨大なトマトの“樹”の姿です。たった一粒の普通のトマトの種を、研究者が条件を整えて育てることで、1万3千個の実をつける巨木になったのです。私たちが経験的にあたりまえだと思っている姿と異なる巨大なトマトは、私たちを含めて様々なものを持つ可能性を示唆してくれているのかもしれない。

